

平成 26 年度第 3 回北海道立図書館協議会会議概要

日 時：平成 27 年 3 月 24 日（火）

会 場：北海道立図書館 会議室

出席者：協議会委員 10 名、道立図書館職員 12 名

傍聴者：なし

議事等

1 議題

(1) 「平成 27 年度北海道立図書館運営計画（案）」について

2 その他

会議概要 （○～委員の発言 ・～道立図書館職員の発言）

1 議題

(1) 「平成 27 年度北海道立図書館運営計画（案）」について

金山利用サービス部長説明

（「平成 27 年度北海道立図書館運営計画（案）」・「平成 26・27 年度新旧対照表」）

2 事業計画の概要

(1) 市町村支援 イ 図書館設置の促進

- 置戸町が平成 17 年当時、図書館が過疎債の適用にならないので名称を変更し、生涯学習情報センターとして改築したが、10 年経って町立図書館に名称を変更したのは、過疎債が適用になるようになったからですか、それとも処分制限期間の関係ですか。
- ・ 置戸町の平成 26 年 6 月定例会において、町長は「町立図書館設置条例の再制定を」という一般質問に対して「平成 22 年の過疎地域自立特別措置法の改正により、図書館も過疎債の対象施設に復活し過疎地域での図書館建設を促進させることができるようになった。過疎債償還を待って名称変更できないか調べたが、平成 27 年に処分制限が解除されることから、来年 4 月 1 日の図書館条例復活を目指す。」という趣旨の答弁をしています。
- 置戸町の積極的な努力が評価され、公立の図書館を過疎債の対象にすることになったのだと思います。

(3) 道民向けサービス ア 来館型サービスの充実 (イ) 来館者サービスの向上

- 1 人 1 回当たりの貸出冊数を 5 冊から 10 冊に拡大した試行実施の結果として、貸出冊数が 2 割も増加したということですが、増加の理由をどのように分析していますか。

- ・利用者数自体は2割も増えているわけではありません。試行前から5冊では足りないという利用者が多かったので、利用者の希望に沿った結果ではないかと考えています。

(4) 子どもの読書活動の推進 イ 他機関との連携による子どもの読書環境の整備

(ア) 研修の実施

- 学校図書館法の改正により全国の学校図書館に学校司書の設置が義務づけられましたが、これは努力目標で、設置がなかなか促進されないという現状です。
道立図書館では、学校司書の研修に特化したような計画はありますか。
- ・ 学校図書館講座という名称で、学校の夏冬の長期休業期間中に学校司書や担当の先生を含めた研修を実施する予定です。
- 学校司書に特化したものではないですね。
- ・ 現状では学校司書が配置されているところは、私立学校や高校など限られていますので、司書教諭や学校図書館担当者も対象に含めて、学校図書館の運営全般に役立つような内容の講座を考えています。
- 道立図書館から積極的な働きかけがあれば、設置が広がる契機になるのではないかと思います。恵庭市のように随分前に全校に学校司書を配置しているところでは、先進的な取組を行っています。150億円の予算が地方交付税として付いていますが、執行については自治体任せなので、懸念を強く持っています。
- 積極的な呼びかけや研修の中身などを工夫して、学校司書の設置の取組を応援するような研修をやってほしいということですね。

(6) 連携する図書館 イ 各種団体との連携

- 北海道図書館大会の会場として大学の施設を借りられないかと北海道地区の大学図書館協議会に協力依頼がありましたが、会場に掛かる予算は厳しいのでしょうか。
- ・ 平成27年度の図書館大会は北日本図書館大会と兼ねて行いますので、札幌市教育文化会館を会場としていますが、北海道図書館振興協議会の会費や大会の参加費を財源にしていますので、会場費を負担する施設を借りることが難しい状況です。大学の夏休み期間である9月頃に施設を使用したいということで、平成22年の北海学園大学を始めとして、藤女子大学や北星学園大学にもお世話になりました。平成28年度以降も、できれば大学の施設をお借りして開催したいということで、大学図書館協議会に調整をお願いしているところです。
- 私立大学は無料で貸してくれるのですか。
- ・ はい。

5 図書館資料の整備計画

(1) 購入による図書資料 ア 一般資料

- 平成 26 年度と平成 27 年度を比較すると、資料費予算が減額されているけれども、資料収集計画の冊数は減っていないのはなぜですか。
 - ・ 資料の購入について、見積合せ等により定価よりも安価で購入しているためですが、そういう努力をさらに行っていきたいと思っています。
- 予算が増えないので、努力しているということですね。

(1) 購入による図書資料 ウ 支援活動用資料

- 支援活動用資料は、一般資料との複本はありませんか。
 - ・ 一般資料については市町村で購入できないような専門的、高価なものの比率が高く、実用書や文学一般などを収集対象とする支援活動用資料とは異なるので、複本があると思いますが、それほど多くはないと思います。
- 支援活動用資料は、蔵書検索に反映していないのでしょうか。
 - ・ 支援活動用資料は、公民館図書室等や学校図書館で使用する事業用の資料なので、蔵書検索には反映されていません。一般資料は、原則的に複本を購入しないということにしています。

- 他に意見はありませんか。それでは平成 27 年度北海道立図書館運営計画については、委員の意見を踏まえ、実施する決定でお願いします。

3 その他（情報提供）

(1) 「北海道議会図書室に『インターネット予約貸出し』の受取窓口を開設」

小野田総務企画部長説明

- この機会に議会図書室との連携がもっと高まることを期待しています。ただの受取窓口というだけではなく、蔵書やサービスなどもっと連携を高めてもらいたいと思います。2 月に出た『日経グローバル』に議会図書室が特集されています。全国の都道府県と政令市・県庁所在市の議会図書室について、蔵書規模やサービス内容などが全部一覽となって載っていて、北海道は全国平均からかなり下回る状況です。
議会図書室は設置が義務づけられているにもかかわらず、施設だけ設置されて中身が全然メンテナンスされていない状況は、全国どこも同じ状況のような気がしています。議会図書室が活性化することで道立図書館のサービスや蔵書が充実していく相関関係もあると思いますので、是非、連携を高めてください。

- ・ 道議会図書室は、これまでも一般開放といいますが閲覧は行っているのですが、あまり利用されていないようです。受取窓口を開設する火曜日と木曜日については、道立図書館の司書を配置することになっています。その 2 日間は道議会図書室の司書資格のある臨時職員と二人体制となりますので、議会図書室の図書の購入などいろいろなアドバイスができると思います。そういう形で議会図書室と連携をとりながら、利用が多くなったときには、開設回数を増やすことも検討していかなければいけないと思っています。
- 貸出冊数が増え、ある程度のサービスの声を反映できるようないい循環になるといいと思います。
- 議会図書室に受取窓口を開設したのは、議員を対象にしているのですか。それとも道民を対象にしているのですか。
 - ・ どちらかという道民を対象に考えています。現在、道内 116 市町村 136 館で、インターネット予約貸出しの資料を受け取ることができるのですが、札幌市内については道立図書館まで来て受け取るか自宅に送付するという形なので、議会図書室の受取窓口は札幌で働いている方に利用してほしいという狙いです。
- 議員が図書館なんていないということにならないように、積極的に活用してもらえよう、いろいろな発信をしてほしいと思います。

(2) 「第 66 回北日本図書館大会北海道大会第 57 回北海道立図書館大会開催要項（案）」

小野田総務企画部長説明

- 魅力的な内容ですが、どのくらいの参加人数を予定しているのですか。
 - ・ およそ 200 人です。

(3) 報告書『ゼロからはじめるデジタル化—小規模図書館でもできる』

—北海道図書館振興協議会発行

吉原企画支援課長説明

(資料配付のみ)

『北海道立図書館報No.198』